

(参考様式6)

事業活用活性化計画目標等評価報告書

作成日：令和元年8月29日

ふりがな	しもふかだちくかっせいかけいかく
活性化計画名	下深田地区活性化計画
ふりがな	とちぎけん、おおたわらし
計画主体名	栃木県（代表）、大田原市
計画主体コード	090000、092100
計画期間	平成27年度～平成30年度
事業実施期間	平成27年度～平成29年度 ※
活性化計画区域	下深田地区（栃木県大田原市）

※平成28年度～平成29年度は農業競争力強化農地整備事業により実施

1 事業活用活性化計画目標の評価等

(1) 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) $C = B / A$	備考
定住等の促進に資する基盤整備の円滑化	1年	1年	100%	

(コメント)

下深田地区で地形図を作成することにより、目標通りに農地整備事業に着手することができた。

(2) 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	基盤整備（地形図作成）
事業内容及び事業量	地形図作成 A=41ha
事業実施主体	大田原市
管理主体	大田原市

事業着手年度	事業竣工年度	供用開始日
平成 27 年度	平成 27 年度	—
事業の効果	地形図の作成及び経営体育成促進換地等調整事業（農業競争力強化農地整備事業で実施）を実施したことにより、農地整備事業に円滑に着手することができ、定住の促進に資することが期待される。	

（3）総合評価及び今後の方針

<p>（コメント）</p> <p>〔大田原市〕</p> <p>地形図の作成は、農地整備事業には必須であり、本事業の実施が円滑な事業着手に繋がったと思われる。</p> <p>〔栃木県〕</p> <p>本事業により農地の集団化が円滑に進み、基盤整備事業が着手されたことで、農業後継者の意欲の向上及び定住の促進を図られることが期待される。</p>
--

（4）第三者の意見

第三評価者	（所属） 大田原市農業委員会	（氏名） 会長 荒井 一夫
<p>（コメント）</p> <p>本事業の実施が農業基盤整備事業の円滑な実施に繋がり、農地の集積化、大型農業機械による農作業の効率化・省力化、担い手の確保が図られると思う。</p>		